

2007 年度事業報告

特定非営利活動法人 大阪府民環境会議

. 事業期間

2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日

. 事業の成果

2007 年度は府下環境団体のネットワーク化に向け、様々なアプローチを試みました。

○「OPEN 市民セミナー2007」において「市民環境会議集合！」というテーマの下、府下7市の「市民環境会議」が集まり、情報・意見の交流を行ないました。これを機会に団体間のメーリングリストによる情報交換の場ができました。

○「近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)」の運営を、昨年に引き続き環境省近畿地方事務所と連携・協働して実施しました。立ち上げから昨年度まで3年間運営を受託し、近畿2府4県の自治体や温暖化防止活動推進センター、環境拠点との交流が進み、またパートナーシップ団体や各地の環境団体、企業、関係者とのネットワークを広げることができました。

○「共生の森づくり事業」を大阪府より受託し、多くの府民・企業等の参加による植樹イベントや管理業務を実施し、堺第7-3区の自然創生に寄与することができました。また、当初からの目標の一つであった「森づくりを担う団体」が、ワークショップメンバーによるNPO法人の設立予定という形で実りました。長期にわたる森づくりの新たな一歩といえます。

○「地球温暖化防止! OSAKA アクション2007」を開催し、府下の環境団体や市民参加による地球温暖化防止活動を推進しました。また、環境団体や市民の交流を深めることができました。

○「バスエコファミリーキャンペーン」事業は、マイカーから公共交通への転換を促すTDM(交通需要マネジメント)施策のPRキャンペーンであり、3回目の今年度は大阪府、バス事業者、府民が協議会を結成して実施しました。企業が協賛し、大阪府が広報面で支援し、市民が運営するという各主体の力を生かし合う協働事業で、OPENが「エコファミリーキャンペーン連絡協議会」の事務局を担っています。協働運営した府下のNPOとの交流が芽生え、ネットワーク化につながりました。

○「大阪市住まい情報センタータイアップ事業 - 北浜大好きマップづくり -」は「OPEN 市民セミナー2006」をきっかけに発足した「まちづくり委員会」が担当して実施しました。企画・運営は、大阪市内でまちづくりに関心をもつ団体、個人と協働して行ないました。

○「L I N C S (リナックス型環境共育開発プロジェクト)」との協働により、L I N C S が開発した環境学習プログラムを「市民セミナー2007」で実施しました。

. 会員の状況

前年度比

2007年度会員数	正会員(団体)	22	(加入1、区分変更:賛助会員へ1、退会1)
	正会員(個人)	13	(加入1、区分変更:賛助会員へ3、退会4)
	賛助会員(団体)	1	
	賛助会員(個人)	11	(区分変更:正会員から4、退会1)

・事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造への府民啓発を目的とした教育・広報に関する事業

事業名：大阪府地球温暖化防止活動推進センター委託事業

「地球温暖化防止！OSAKAアクション2007」

【内容】地球温暖化防止にむけた府民への啓発を、大阪府地球温暖化防止センターと連携し、大阪府内のNPO、事業者等と協働で、12月地球温暖化防止月間行事「地球温暖化防止！OSAKAアクション2007」を開催しました。2007年度は「温暖化を防ぐってどうしたらいいの！」のテーマに、府下の30を超える環境団体、地域市民が多数参加し、コンサートやダンスなど楽しい催しで啓発活動を活性化させました。本事業は、地球温暖化委員会が担当しました。

【実施時期】12月9日 会場：大阪OBPツイン21アトリウム

【事業対象者】一般府民、延べ6,000名

事業名：彩都かんきょう未来塾

【内容】「人と自然との共生」をテーマの一つとしてまちづくりを進めている「彩都（国際文化公園都市）において、彩都周辺の地域住民を対象に、環境保全活動や環境啓発に率先して取り組み、指導できる担い手を育成することを目的にした事業を実施しました。

受講者25名、修了者は12名でした。

【実施時期】2007年7月から2008年3月

【事業対象者】一般府民

事業名：彩都科学体験教室

【内容】本事業は、彩都周辺に位置する箕面市立小学校2校において、科学に興味をもってもらうため、エネルギーを基本とした体験教室を実施しました。

【実施時期】2007年9月から2008年1月

箕面小学校 6年 2007年9月から12月

豊川北小学校 4年 2008年1月

【事業対象者】箕面市立小学校2校の児童

バスエコファミリーキャンペーン（エコファミリーキャンペーン連絡協議会主催）

【内容】公共交通の利用促進事業推進のために07年度に発足した「エコファミリーキャンペーン連絡協議会」の事務局を担い、企業協賛の窓口、各キャンペーンの企画・進行管理を行ないました。このキャンペーンは子ども運賃を無料とすることで、マイカーから公共交通への転換を促すものです。11月18日実施の「水上バスに乗ってスタンプラリー」では天満宮、大阪水上バス株式会社、天三おかげ館のご協力の下に実施しました。

【実施時期】11月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日の8日間

【事業対象者】一般府民

事業名：大阪府内活動団体・学校などへの講師派遣（未実施）

(2) 地球温暖化防止や地域の環境保全・創造に向けての情報の収集・発信、調査研究に関する事業

事業名：ニュー・スレタ - 「OPEN」の発行

【内容】ニューズレターの発行は9月（第5号）12月（第6号）の2回にとどまりました。

地球温暖化防止や大阪府域の環境保全活動の情報収集・発信を行い広報と啓発に努めました。

第5号（12P）：市民フォーラム特集、事業報告（OPEN市民セミナー、会員交流会「共生の森」）会員レポート（里山倶楽部）連載（大阪自然環境保全協会、ほか）

第6号（8P）：共生の森特集、事業報告（バスエコファミリーキャンペーン、北浜大好きマップ作り）会員レポート（ONE WORLD for Children）連載（CASA、ほか）

本事業は、広報委員会が担当しました。

【実施時期】5号9月、6号12月

【事業対象者】一般府民

事業名：ホ・ムペ・ジの整備・運用

【内容】昨年度末に独自ドメインを取得し、それを機会に更新が遅れていたページの情報更新を行いました。また、市民フォーラム、共生の森植樹イベント告知やニューズレターの掲載など適宜行い、OPENの取り組み広報に努めました。しかし、情報量とタイムリーさにおいて取り組みがやや不十分であり今後強化する必要があります。

情報更新：トップページ、設立の経緯、役員紹介、事業計画、事業報告、関係団体リンクなど

本事業は、広報委員会が担当しました。

【実施時期】1年間

【事業対象者】一般府民

(3) 地域に根ざした持続可能な社会・循環型まちづくり及び環境教育のためのネットワ - クづくり、情報基盤の整備に関する事業

事業名：環境省近畿地方事務所委託事業

近畿環境パートナーシップオフィス「きんき環境館」の運営管理業務

【内容】2007年度から事業計画の中期と位置づけて、初期で得たネットワークを活用してパートナーシップによる環境保全活動の促進につなげる取り組み、また近畿地区の多様な主体によるネットワークを活かす取り組みをつくることを行いました。

本事業は、専従職員3名ときんき環境館ワーキングチームが担当しました。

i. 主な事業の実施に関する事項

1) 環境パートナーシップ担い手充実事業

- ・ 環境ゼミナールの開催：主に自治体職員を対象とした講座を開催しました。
基礎講座（和歌山県、奈良県） 連続講座（大阪府で2回）

2) 意見交換の場作り事業

- ・ 地域でのパートナーシップ促進のためのフォーラム・ミーティングを実施しました。
滋賀県2回、奈良県、兵庫県
- ・ 環境省の重点施策等に関する意見交換会、EPO/GEICタイアップセミナー等を実施しました。
大阪府3回、兵庫県

3) 環境情報の受発信事業

- 環境情報の収集：情報誌の取材、EPO 連絡会議、各県の温暖化防止活動推進センターへのヒヤリングなど
- 情報の発信：HP のアクセス数 177,935、メールマガジンの配信回数 26 回、配信数 2490 (3 月現在) 情報誌の発行 2 回、各 3000 部
- 協働事業：パートナーシップ登録団体 (45 団体) パートナーシップ団体との意見交換会やスペース利用など環境パートナーシップの輪が広がりました。
- 館内事業：きんき環境館主催行事の開催をはじめ団体、一般来館者へのフリースペースの提供、機器の利用、館内閲覧資料の整備、環境関連パンフレットの配架 などを実施しました。
- 運営委員会：きんき環境館の運営にあたり、基本的な方針ならびに事業報告および事業計画を審議するために設置しています。運営委員 12 名の構成。19 年度は 4 回委員会を開催しました。

【実施時期】2007年4月1日～2008年3月31日

【事業対象者】近畿圏一般市民・NGO/NPO など

事業名：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業

「共生の森づくり活動支援委託業務」

【内容】大阪湾臨海部の堺第 7-3 区産業廃棄物埋立処分場跡地内・共生の森エリアで、市民・NPO・企業・団体・行政が協働しながら約 100ha の「共生の森」を創生する活動について、2006 年度から引き続き標記業務を受託し、森づくり活動の企画・運営・支援協力などを展開しました。07 年度は、市民参加の「共生の森づくり」ワークショップ活動が始まって 4 年度目にあたり、OPEN が活動支援業務を受託して 2 年目。

1) ワークショップ活動 - 毎月 1 回の計 12 回。植栽イベント、組織づくりなど

毎月 1 回(原則最終日曜日 9 時半～16 時半ごろまで)の計 12 回、現地などで、植栽イベント、フィールドめぐりイベント、草刈り・イベント、鳥類や昆虫の観察調査などを行いました。ワークショップ(64 名登録)の自立的組織づくりも引き続き行い、班活動、自主的な動きを進め、08 年 3 月には NPO 法人化が固まりました。

秋には、毎日新聞社の事業である植樹祭も受け入れ、ワークショップ活動の中心である植栽イベント(2 月 17 日)には総勢 450 人近い人が集まり、約 1300 本の植樹を行いました。

ワークショップメンバーは年度当初 64 名でしたが、72 名に増加しました。

2) 活動の事前打合せ

昨年度に引き続き、活動の運営会議も毎月 1 回(原則第 2 木曜日)行い、また重要な事項を協議する企画会議も設けて、活動全般にわたる企画・調整・準備を検討しました。

3) 森づくり平日活動

毎月 1 回のワークショップ活動ではできない活動を行うため、原則第 2 木曜日(9 時半～15 時ごろまで)毎月 1 回の平日作業も行いました。

4) 自然創生リーダー養成講座

ワークショップメンバーを増やし、森づくり活動を拡充するため、上記の講座を 9 月から 2 月にかけて 7 回開催しました。講生申込みは 30 名。

5) 協働団体の交流機会

将来のプラットフォームづくりの初期段階として、初めてワークショップメンバーと協働する企業団体約 20 団体が一堂に会して意見交換の場をもちました。(2 月 8 日)

6) 広報活動

府民への広報活動については、ワークショップメンバー募集・森づくり活動 PR のチラシを 1 万枚、自然創生リーダー養成講座募集チラシ 5000 枚、植栽イベント案内チラシ 1 万枚などを印刷配布。また 4 月から 3 月まで毎月、共生の森づくり活動を紹介するメルマガをメンバーが発行しました。

【実施時期】2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日

【事業対象者】市民・学校・NPO・企業・団体・行政など

事業名：独立行政法人日本万国博覧会記念機構委託事業

万博公園ボランティア団体養成及び中間支援業務

【内容】万博記念機構の NPO 組織等に対する公募業務の効果的な運営のための中間支援業務及び万博公園にて活躍するボランティア団体の養成など、市民参画システムを支援するための業務を継続期間において行ないました。

【実施時期】2007 年 4 月 1 日～2007 年 7 月 31 日

【事業対象者】一般市民・NPO など

北浜大好きマップづくり(大阪市住まい情報センタータイアップ事業)

【内容】OPEN 市民セミナー2006 をきっかけに大阪を愛しその発展を望む人たちのゆるやかな集まり(仮称:大阪マイマップの会)が生まれました。OPEN では「まちづくり委員会」をあらたに設置し、大阪マイマップの会に参画し、「子ども・働く人・訪れる人・生活する人」の目線でまちの情報を発信する、マップづくりの活動を行いました。

○講座 「船場語り部の話をきく」 講師 三島 佑一氏(船場大阪を語る会会長)

○まち歩き 「北浜まちあるきマイマップをつくろう！」

【実施時期】講 座 11 月 10 日 受講者 32 名

まち歩き 11 月 17 日 受講者 21 名

【事業対象者】一般市民

(4) 目標達成に関連する環境保全活動団体への組織マネジメントや人材育成に関する事業

事業名：OPEN市民セミナー2007(東洋ゴムグループ環境保護基金助成事業)

【内容】市民活動を広げることを目的に市民活動に関する入門講座と既に活動を行なっている団体および会員の力量アップのための講座を開催しました。

パート1. 「LINCSプログラムを体験しよう！」

パート2. 「市民環境会議集合！」パネリスト

岡林 洋一氏(たかつき環境市民会議 代表)

北川 照子氏(市民環境ネット・せつつ 代表)

平 軍二 氏(特定非営利活動法人すいた市民環境会議 理事)

小田 忠文氏(同 理事・会長)

井上 和彦氏（特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 事務局長）
谷崎 利男氏（特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事長）
阿蘇 紀夫氏（特定非営利活動法人東大阪市民環境会議 会長）
相良 長昭氏（きしわだ環境市民会議 議長 兼 事務局担当）

パート3 . 「共生の森から考えよう！大阪府の環境ビジョン」

【実施時期】 パート1. 2008年2月2日・9日・23日 会場：大阪市立総合生涯学習センター
パート2. 3月8日 会場：大阪市立総合生涯学習センター
パート3. 3月15日 会場：大阪市立総合生涯学習センター

【事業対象者】一般市民・NGO/NPO

（5）目的達成に関連する行政や企業への政策提言に関する事業

事業名：OPEN市民フォーラム2007「知って、動いて、豊かになろう！」

【内容】大阪府において温室効果ガスを9%削減することが目標に掲げられているが、現状はどうなっているのか、基調講演をもとに3分科会で話し合いました。

○基調講演：「もう日本は亜熱帯？ いま私たちができること - 」

講師 高月 紘氏（石川県立大学生物資源工学研究所教授、京都大学名誉教授）

○分科会：地球温暖化防止分科会、自然里山分科会、環境教育分科会

【実施時期】6月30日（日）会場：大阪市立総合生涯学習センター

【事業対象者】OPEN会員・一般府民 50名、

事業名：市民参画・行政の各種委員会等への参画

- 大阪市：なにわエコ会議に小原純子理事長が副会長として参画
- 大阪府環境教育等推進委員会 原田環境教育委員会委員長が出席
- 大阪府省エネ住宅・省エネ家電普及促進協議会にCASA(大崎氏)が出席

（6）ネットワークへの参加

- 大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」に登録
世話人として、岡靖敏理事が出席
世話人会は毎月第三月曜日（8月、2月を除く）
- 特定非営利活動法人「自然エネルギー市民の会」に会員登録
- 「なにわエコ会議」に会員登録
中之島ミュージックカーニバルに出展 9月15日～17日（大阪市役所1Fロビー）

・総会の開催状況

1.第4回総会 開催日 2007年6月30日 会場 大阪市立総合生涯学習ルーム（大阪駅前第2ビル）

議案 第1号議案 2006年度事業報告承認の件
第2号議案 2006年度収支決算承認の件
第3号議案 2007年度事業計画承認の件
第4号議案 2007年度収支予算承認の件

・理事会の開催状況

- 第1回理事会 2007.4.10
- 第2回理事会 2007.5.23
- 第3回理事会 2007.6.12
- 第4回理事会 2007.6.29
- 第5回理事会 2007.7.10
- 第6回理事会 2007.8.21
- 第7回理事会 2007.9.20
- 第8回理事会 2007.10.23
- 第9回理事会 2007.11.26

・各委員会の開催

【地球温暖化委員会】

- 大阪府地球温暖化防止活動推進センターとの協働による温暖化防止啓発イベント「地球温暖化防止！OSAKAアクション 2007」の実施
- 大阪府との協働による公共交通利用促進事業の推進
- 彩都地域における人材養成事業や出前授業の実施

【自然・里山委員会】

- 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室委託事業「共生の森づくり活動支援委託業務」の実施し、担当理事が相当の時間を割いてこの業務に携わりました。共生の森エリアの指標生物の観察指導と野鳥から見た生息域の環境管理についての話題提供も行い、また鳥類の生息調査も実施しました。

【環境教育委員会】

- 環境教育委員会の開催
2回開催（2007年7月、2007年12月）
- LINC（リナックス型環境共育開発プロジェクト）との協働
LINCで開発したプログラムをOPEN市民セミナー2007において実施しました。
- その他
 - ・「大阪府環境教育推進委員会」（7月2日・08年2月19日開催）に原田委員が出席。
 - ・「日本環境教育学会運営委員会」に原田委員が出席。

【広報委員会】

- ニュースレターの発行
ニュースレターを2回発行しました。
第5号は9月に12ページ建て、第6号は12月に8ページ建て発行し、会員及び関係先へ配布しました。
- ホームページの更新
ホームページの各ページを完成させ、適宜更新を実施しました。

【会員交流委員会】

- 共生の森見学会（7月29日）：草刈イベントに12名が参加しました

【まちづくり委員会】

- OPEN 市民セミナー2006 をきっかけに大阪を愛しその発展を望む人たちのゆるやかな集まり（仮称:大阪マイマップの会）が生まれました。OPEN では「まちづくり委員会」をあらたに設置し、大阪マイマップの会に参画し、「子ども・働く人・訪れる人・生活する人」の目線でまちの情報を発信する、マップづくりの活動を続けています。
- 大阪市住まい情報センターとタイアップ事業を「大阪マイマップの会」と共に実施しました。